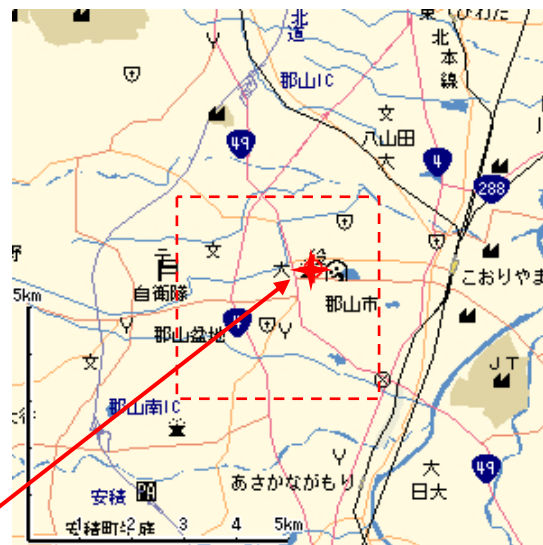
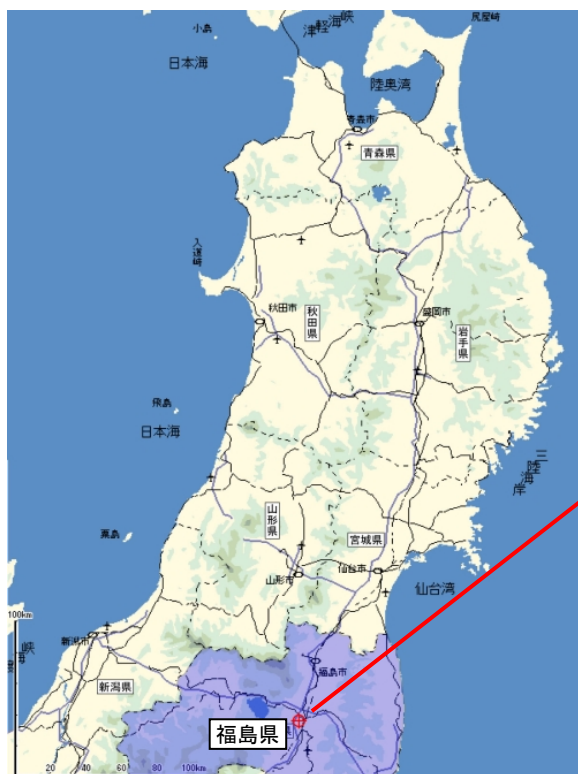


34 福島県 郡山市

雨水幹線（せせらぎこみち）

水源	導水方法	導水管所	水環境上の問題
雨水	新設管路 動力	河川・水路	水質悪化・悪臭 親水性・景観



※地図中の破線枠は次ページの地図範囲

対象地域の概要

・地域の概要

郡山市は、北には、奥羽山脈の秀峰・安達太良山を望み、東は、阿武隈山系につつまれ、全国第4位の大きさを誇る猪苗代湖や阿武隈川の豊かな潤いに満たされています。

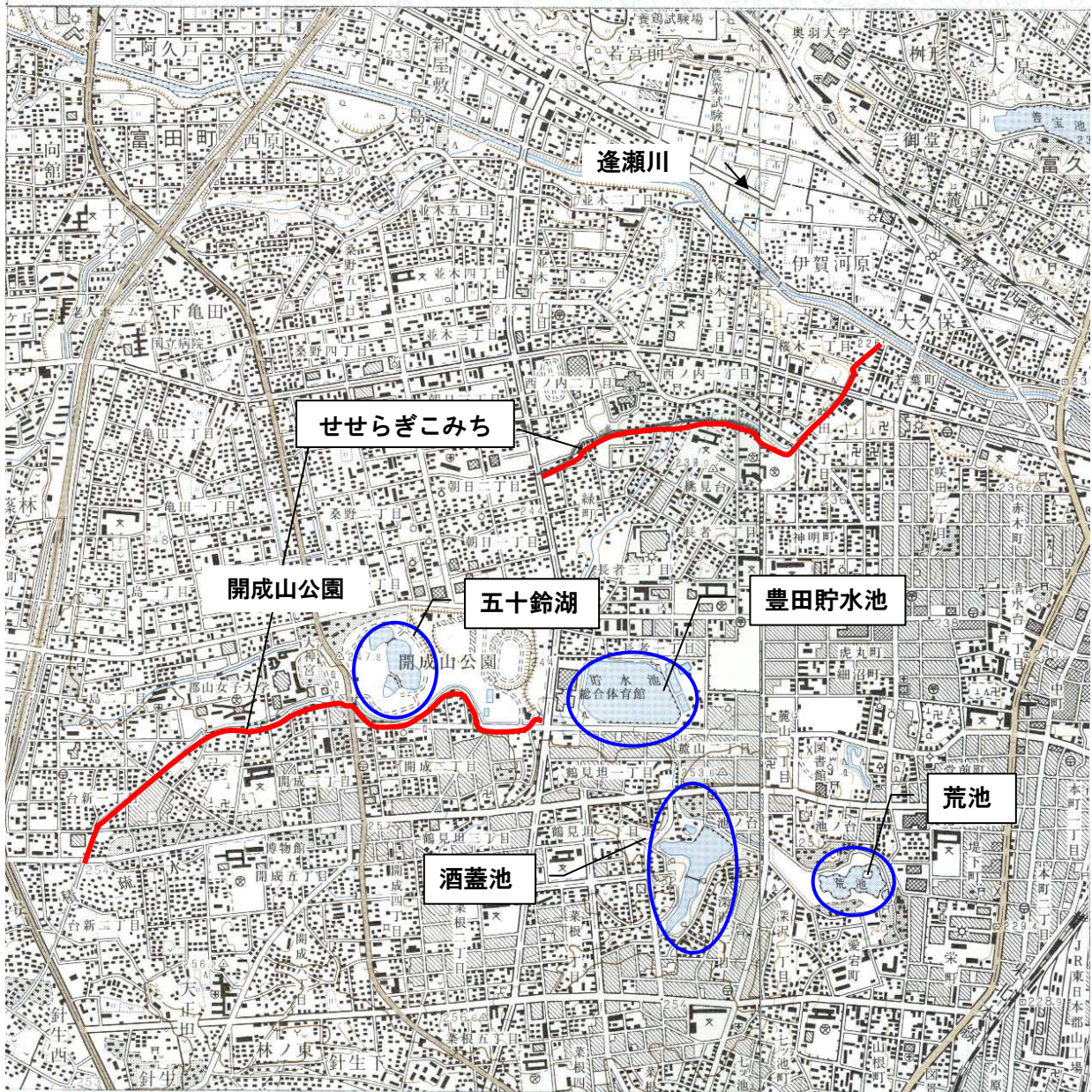
福島県の中央に位置し明治初期の「安積疏水の開さく」と「安積開拓」の成功を機に発展しました。東北本線をはじめとする、磐越西線、磐越東線、水郡線、東北新幹線と県内外に延びる鉄道網、また、東北自動車道、磐越自動車道などの高速道路網、さらには福島空港へのアクセスなど交通の要衝として、工業・商業のバランスの取れた南東北の拠点都市となっています。

気候は、比較的穏やかな内陸性気候であり、桜の開花は、4月10日から20日ごろ（湖南町では、5日ほど遅れ）、梅雨は低温になり、夏に入ると急激に気温は上昇する。冬は、西からの季節風「磐梯おろし」が吹くが、湖南町を除いて雪の量は少なく、平野部に長期間残るような雪が降ることはほとんどありません。

安積疏水の開さくは、明治12年から始まった国直轄の農業水利事業の第一号です。3年の年月を費やし、延べ85万人の労働力をもって、総経費40万7千円（現在の貨幣価値に換算すると約400億円）を投じ、明治15年8月、幹線水路延長52km、分水路78km、トンネル37か所、受益面積約3千haという安積疏水が完成しました。

明治政府の土族授産と殖産興業の方針のもと、この安積疏水の計画が決まるころから、封建制度の廃止により職を失った旧武士のうち、全国9藩から約2,000余の人々が、当時約5,000人の人口の郡山村の近隣に移住し、本格的な国営安積開拓が始まりました。この安積疏水と安積開拓により、郡山市は急速な発展を遂げることとなりました。

現在、人口は339,019人、世帯数は127,974世帯（平成19年3月1日現在）、市の面積は757.06km²、標高245mです。また、郡山市では、4つの基本理念（①市民が主役の郡山、②継続と創造の精神、③ハードよりソフト、④選択と集中）とそれに基づく10大政策を推進し、安全・安心で快適な生活を送ることのできる「人口50万人の広域拠点都市」を目標にまちづくりを進めています。



対象地域の概要

・水環境上の問題：水質悪化・悪臭 生態系悪影響 親水性・景観

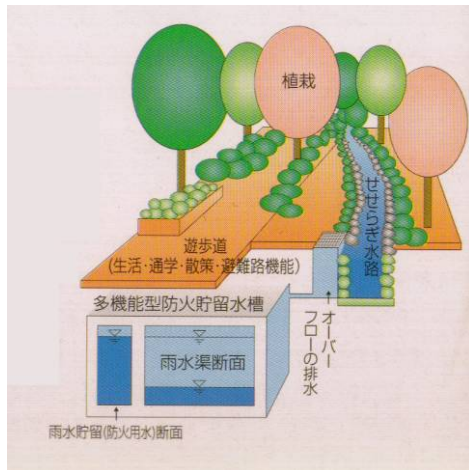
郡山市の中央を流れ、郡山市発展の礎となった安積(あさか)疏水(そすい)の用水がかつて流れていた本水路は、市街地の拡大に伴い水質が悪化し、地域の住民からもきれいにしてほしいという要望が出ていました。

また、浸水被害の深刻化もあり、公共下水道114号雨水幹線として位置付けられ、平成7年度に国土交通省の水環境・再生下水道モデル事業(現・水環境創造事業)に採択され、雨水整備事業の一環として上下二段構造にして整備を行いました。

上部のせせらぎ水路空間には、下部雨水管渠を流れる雨水を浄化した雨水を流し、憩いの場を創出しています。区間内には、バリアフリーの遊歩道・四季折々の植栽、随所に配置された親水空間、広い場所には四阿を設置する等、水と緑をテーマに市民にゆとりと潤いを与えています。生活道路や散歩道、そして通勤・通学路としても利用され、「せせらぎこみち」の愛称で親しまれています。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">導水事業の概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・水源 雨水(処理水) ・導水方法 せせらぎ水路は自然流下だが、ポンプで処理水を最上流まで圧送しています。 ・施設諸元 <ul style="list-style-type: none"> ○全体 処理施設（せせらぎプラント） 遊歩道延長：L=3,100m 水路延長：2,400m 四 阿：3棟 植 栽 高・中・低木：約 46,000 本 地被類：66,000 本 照明設備：258 基 ○圧送設備 圧送管（φ200mm）：L=3,300m 圧送・中継ポンプ：4 箇所 防火貯留槽：貯留量 640m³ ○せせらぎプラント 処理方式：気性ろ床方式 運転時間：午前 3～午後 7 時 30 分 運転期間：3 月中旬～1 月中旬（冬季間運転停止） 処理水量：1,000m³/day（20L/s） 処理水質：大腸菌 1000 個/100mL 以下 色 濁 度：2 度以下 P H：5.8～8.6 色 度：40 度以下 ○照明運転 <ul style="list-style-type: none"> ・全点灯：日没～22 時 ・半点灯：22 時～日の出 <p>（※状況によりタイマー設定可能）</p> ・費用 事業費総額：22.3 億円 [内訳] 第一期：10.5 億円 第二期：11.8 億円 [補助] 平成 7 年度に国土交通省の水環境・再生下水道モデル事業（現・水環境創造事業）に採択
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">NPOとの協働</p>	<p>この地域においては、現在 NPO 等との協働は特に行われていません。ただし、各種団体、町内会、学生による清掃活動が行われています。 またボランティア活動の PR 実施を予定しています。</p>

<p>その他関連事業／ 関連事業 その他 連情報</p>	<p>事業名：水環境創造事業（水循環再生型「せせらぎこみち」） （旧）水循環・再生下水道モデル事業）</p> <p>本事業は、雨水排水路をより親水的な二重構造とすることによって、①清流の復活と親水性の増進②雨水の有効利用（防火用水）③周辺文化・教育施設への誘導路・散策路としての整備④良好な水辺景観の形成などによって都市の総合的なアメニティ（快適性）の向上を図るものである。</p> <p>以下の賞を受賞。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設大臣賞「第7回いきいき下水道賞」（地域環境創設部門）平成10年9月 ・「手づくり郷土賞」平成12年7月 ・建設大臣賞「甦る水100選」平成12年9月 <p>（※以上、事業概要資料：郡山市下水道部「水環境創造事業（水循環再生型「せせらぎこみち」）事業概要」資料）</p>
<p>ヒ資料 アリン グ提供 及び先</p>	<p>郡山市下水道部 下水道維持課：024-924-2791 〒963-8601 福島県郡山市朝日1丁目23-7 ※本稿の写真は全て、郡山市下水道部提供 安積疏水土地改良区 水利グループ 〒963-8851 福島県郡山市開成二丁目22番2号</p>
<p>参 考 エ ト</p>	<p>郡山市下水道部 下水道維持課 HP： http://bsrvwww01.city.koriyama.fukushima.jp/ge-b/ijika/seseragi.html 安積疏水土地改良区 水利グループ HP http://www.asakasosui.jp/</p>



せせらぎ水路と遊歩道の断面イメージ

(資料：郡山市下水道部「せせらぎこみち」事業パンフレット)



「せせらぎこみち」施工前：台新地区内



「せせらぎこみち」完成後：同場所



台新地区



開成地区